

2019年度

科目名	<b>現代の養生訓</b>			
対象学科	人間科学部 心身健康科学科			
担当教員	久住武			
配当年次	1-4	選択	単位数	テキスト履修：2単位
資格等関連科目	【2537T】心身健康アドバイザー【5919T】あはき師・柔道整復師養成カリキュラム			
科目コード	2537T/ 5919T (科目等履修生)			
科目区分	分野別科目 (文化・社会の理解)			
テキストの変更・改訂	2018年度からの変更・改訂： なし			
使用教材	教科書	久住武『現代の養生訓』（本学オリジナルテキスト）		
教育目標	<p>人間が人間らしく豊かに生きるためには、人生を楽しむ健康であることが大切である。日本では約300年前、『養生訓』という書物が出版された。ここには人生（老い）を健康で楽しく過ごす、という思想が息づいている。そこで、この科目では貝原益軒の『養生訓』を題材として取り上げ、心身相関に基づいた「養生」という思想を学び、現代における健康観や人生観、食生活、医薬との関わり方などについて考えていく。そして過去の知恵を現代に生かし、自分の問題として捉えて実践し、少子高齢社会をいかに快適に生きることができるかを考える。</p> <p>【広報使用概要】人間が人間らしく豊かに生きるためには、人生を楽しむ健康であることが大切である。日本では約300年前、『養生訓』という書物が出版された。ここには人生（老い）を健康で楽しく過ごす、という思想が息づいている。そこで、この科目では貝原益軒の『養生訓』を題材として取り上げ、心身相関に基づいた「養生」という思想を学び、現代における健康観や人生観、食生活、医薬との関わり方などについて考えていく。そして過去の知恵を現代に生かし、自分の問題として捉えて実践し、少子高齢社会をいかに快適に生きることができるかを考えることを目的とする。具体的には、心身相関に基づいた「養生」という思想を学び、現代における健康観や人生観、食生活、医薬との関わり方などについて具体的・実践的方法論を交えながら自分の考えを述べるができるようにする。</p>			
キーワード	心身相関 / 畏れ（畏敬の念） / ころの養生 / からだの養生 / 食の養生 / よりよく生きるための知恵			
テキストの内容及びアドバイス	<p>近年ますます評価の高まる『養生訓』を題材にして、「人生を楽しむ」や「老いにいたりて娯（たのしみ）を増す」というキーワードから貝原益軒の人生観をみていく。また、益軒の根底にある人間愛や自然愛から「慎む」こと、「惜しむ」こと、「畏れ（畏敬の念）る」ことの大切さを学び、現代社会に生きる私達のあり方を考えていく。「心は楽しむべし」と益軒がいうように養生には「ころ」の養生もあり、「からだ」の養生、「食」の養生を含めて考えていく。</p> <p>前半は「心身相関」をベースに持つ「養生」の持つ意味を概観しながら、東洋の健康観・倫理観を学ぶ。また、それが生み出された思想的背景や時代背景、江戸時代を中心とした日本の医療文化、当時の庶民の生活と疾病観・死生観についても概観し、なぜ今、「養生」が必要なのかを考えていく。後半は、「養生訓」の思想を現代社会に生きる私達に応用し、人生をよりよく生きるための具体的・実践的方法論をみていく。食生活をはじめとする生活習慣のあり方、医薬との関わり方、高齢者の「ころ」と「からだ」の健康について考えていく。</p>			
学生が達成すべき目標（行動目標として）	心身相関に基づいた「養生」という思想を学び、現代における健康観や人生観、食生活、医薬との関わり方などについて具体的・実践的方法論を交えながら自分の考えを述べるができる。			
評価方法・基準	科目修了試験にて60点以上を合格とする。			
課題に対するフィードバックの方法	テキスト課題合格時に「解答・解説」を表示			
連絡事項	テキストには、『養生訓』から主要箇所を引用し解説をつけているが、『養生訓』は原文も現代語訳も複数の出版社から刊行されているので、興味のある人は全体像を把握するため是非読んでみてほしい。			

2019年度

科目名	<b>伝承医学</b>			
対象学科	人間科学部 心身健康科学科			
担当教員	久住武・矢野忠			
配当年次	1-4	選択	単位数	テキスト履修：2単位
資格等関連科目	【5920T】あはき師・柔道整復師養成カリキュラム			
科目コード	2536T/5920T (科目等履修生)			
科目区分	分野別科目 (文化・社会の理解)			
テキストの変更・改訂	2018年度からの変更・改訂： なし			
使用教材	教科書	矢野忠/久住武『伝承医学』(本学オリジナルテキスト)		
教育目標	世界および日本の伝統医学における生命の捉え方、身体の捉え方を学修することによって現代科学、現代医療の問題点を把握し、人間理解の視点を養う。併せて21世紀における医学・医療の方向性についても理解できるようにする。			
キーワード	伝承医学 / 伝統医学 / 日本の医学 / 補完代替医療 / 中国伝統医学			
テキストの内容及びアドバイス	<p>第1章 本章では、世界の伝統医学の特色とその視点について学修する。それらのことを通して医療の在り方を考える視点を養う。第1章の「学習のねらい」を参照</p> <p>第2章 本章では、日本の医療史として日本医学の変遷の概略を学修する。それらのことを通して現代医学と日本の伝統医学との関係について理解し、日本の伝統医学の役割について学修する。第2章の「学習のねらい」を参照</p> <p>第3章 本章では、日本の伝統医学の根本である中国伝統医学の科学思想と生命観の基本事項を学修する。それらのことを通して現代科学と異なる思想と視点を理解する。第3章の「学習のねらい」を参照</p> <p>第4章 本章では、伝統医学の基本的な医学思想とその基盤に立つ養生論の目的・内容を学修する。それらのことを通して健康医学・人間科学の視点を養う。第4章の「学習のねらい」を参照</p> <p>第5章 本章では、日本の伝統医学の一翼を担う鍼灸医学の基本的事項について学修する。それらのことを通して鍼灸医学の診察・治療法の特色を理解し、身体について考える視点を養う。第5章の「学習のねらい」を参照</p> <p>第6章 本章では、補完代替医療の種類、内容について学修する。それらのことを通して健康・予防医学、未病医学の重要性と21世紀における医療の在り方について考える。第6章の「学習のねらい」を参照</p> <p>第7章 本章では、特に鍼灸医学の科学的研究の概略と現状について学修する。それらのことを通して鍼灸医学の科学性・客観性について理解するとともに体表の意義についても学ぶ。第7章の「学習のねらい」を参照</p>			
学生が達成すべき目標(行動目標として)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 世界の主要な伝統医学の名称と特色について説明できる。</li> <li>2. 日本医学上の主要人物と医学史的な業績について説明できるとともに日本医学の特色について理解できる。</li> <li>3. 中国伝統医学の科学思想と医学思想および伝統医学の養生論の特色について説明できるとともに健康予防医学、未病医学としての養生の意義について理解できる。</li> <li>4. 伝統医学の身体論の特色について説明できる。</li> <li>5. 日本の伝統医学の診察法・治療法の概略について理解できる。</li> <li>6. 主要な補完代替医療の概略について説明できるとともに21世紀における現代医学と補完代替医療との関係について理解できる。</li> </ol>			
評価方法・基準	科目修了試験にて60点以上を合格とする。			
課題に対するフィードバックの方法	テキスト課題合格時に「解答・解説」を表示			
連絡事項				

2019年度

科目名	<b>生命倫理学</b>			
対象学科	人間科学部 心身健康科学科			
担当教員	吉田浩子・青木清			
配当年次	1-4	選択	単位数 テキスト履修：2単位 / スクーリング履修：1単位	
資格等関連科目	【2221S】看護教員養成プログラム【5914T】あはき師・柔道整復師養成カリキュラム			
科目コード	2220T / 2221S / 5914T (科目等履修生)			
科目区分	統合科目			
テキストの変更・改訂	2018年度からの変更・改訂： なし			
使用教材	教科書	青木清『生命倫理学』（本学オリジナルテキスト）、「生命倫理学 別冊」		
	参考書等	「いのちをつくっていいですか?」 島園進 NHK出版 2016		
教育目標	現在、著しい生命科学の進歩に伴って開発された技術が医学薬学医療に応用される一方、それら科学技術と医療技術の進歩は私たち人間の生存に対してさまざまな問題を提起している。これらの問題に対して、生命倫理（バイオエシックス）の果たす役割は大きい。その根本にある、生命科学の時代の基本的な考え方は、人間の尊厳や生命の尊厳と、人間の生存を守ることにある。生命科学が21世紀に大きく発展して、健全な発展により人間の生存を守ることのできる力となるかどうかは、人々が生命倫理の知識を教養として持っているかどうかにかかっているだろう。特に、近年、脳死臓器移植、ヒト・ゲノム研究、遺伝子治療、再生医学医療などについての議論がなされている。その生命倫理的な問題を具体的に考察し、環境倫理といった分野までを学ぶ。			
キーワード	バイオエシックス / DNA / インフォームド・コンセント / 倫理的基準 / ヒトクローン / iPS細胞 / ES細胞 / バイオテクノロジー			
テキストの内容及びアドバイス	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 人間の生存とバイオエシックス</li> <li>2. 生命倫理に関する諸問題</li> <li>3. ヒト・ゲノム研究</li> <li>4. 脳死と臓器移植</li> <li>5. 医療における論理—患者の自己決定権とは—</li> <li>6. 出生に関する倫理</li> <li>7. 遺伝子治療</li> <li>8. 安楽死と尊厳死</li> <li>9. 人間の生存を考える</li> <li>10. 環境倫理</li> </ol>			
学生が達成すべき目標（行動目標として）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生命倫理の課題としては何があるか</li> <li>2. 先端医学医療について</li> <li>3. 先端的生物医学について</li> <li>4. 生命科学について</li> <li>5. 技術の進歩と自然について（人間と他の生物との共生）</li> <li>6. 生命倫理と医療倫理について</li> <li>7. 生殖補助医療について</li> <li>8. 終末期医療について</li> </ol>			
卒業認定・学位授与の方針と本科目の関連科目	生命倫理は現代社会をより良く生きるための基礎教養のひとつであり、ディプロマポリシーにある「人間と社会の諸側面について学際的・総合的で幅広い知識」「現代社会と今を生きる人間に深い関心を持ち、新しい展望と視座に立って、創造力・洞察力を持って、心身ともに健康で豊かに暮らすことができる社会の構築という現代の科学的・社会的要請に対して応えようとする意欲と能力」の構築に寄与するものである。			
評価方法・基準	【テキスト履修】 科目修了試験において60点以上を合格とする。 【スクーリング履修（インターネット授業）】 インターネット授業の最終レポートで60点以上を合格とする。			
課題に対するフィードバックの方法	T：テキスト課題合格時に「解答・解説」を表示 S：提出された課題について、必要時、個別にフィードバックを行う			
スクーリング履修における授業準備（予習・復習）の具体的な内容及びそれに必要な時間	【予習】 テキストの資料編付録1と用語編付録2を概観しておくこと。生命倫理は人間の生存と弱者を守るという思想に基づいていることを理解すること。 【復習】 生命科学技術の発展は急速であり、生命倫理で扱う内容の最先端は常に可変的です。最先端の情報を知りたい方は、参考書やインターネットで、ご自身の興味のあるトピックについて調べてみましょう。			
スクーリング履修での講義内容	授業計画			
	時限	学習内容	キーワード（重要語句）	担当教員
	1-3時限	21世紀の生命科学の全体像を理解し、その進歩に伴う生命倫理の諸問題を学修する。	バイオエシックス、DNA	
	4-6時限	先端医療技術と生命倫理の様々な問題を解説し、患者に対するインフォームド・コンセントや、患者の自己決定権について考える。	ES細胞、iPS細胞	
7-8時限	人間の生存の問題に触れ、生命科学が人類の未来に果たす役割とその貢献について考え、学ぶ。	バイオテクノロジー、ヒトゲノム		
連絡事項	テキストには、生命倫理学を学修するにあたっての基礎となる資料として「ヒポクラテスの誓い」「ニュールンベルク綱領」「ヘルシンキ宣言—患者の権利章典—」「ジュネーブ宣言」「リスボン宣言」「国際看護師倫理綱領」が付されています。  最先端の事項は変化が急速でテキストで扱うことが難しいため、興味のある方はご自身で調べ、質問等があれば直接吉田までメールでお問い合わせください。ただし、個人的あるいは特定のケースのご相談に応じることはできないので、あらかじめご了承ください。			